

インフルエンザ予防接種を希望する方へ

接種を受ける前に必ずお読みください！

○インフルエンザとは？

突然の高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、のどの痛み、せき、鼻水などの症状がみられ、気管支炎や肺炎などを合併し、重症化することが多いのが特徴です。

短期間における流行性が強く、特に高齢者や慢性疾患患者で死亡率が高くなるという点では普通の“かぜ”とは異なります。また、小児ではまれにインフルエンザ脳症等が起きると報告されています。

○予防接種の有効性

特に高齢者の発病防止や重症化予防に、有効であることが確認されています。また、効果が持続する期間は5ヶ月間とされていることから、毎年インフルエンザが流行する前の12月上旬までに接種を受けておけば、1シーズン1回の接種（13歳未満は2回）で効果があるとされています。

※裏面も必ずお読みください



インフルエンザ予防接種を希望する方へ

接種を受ける前に必ずお読みください！

○インフルエンザとは？

突然の高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、のどの痛み、せき、鼻水などの症状がみられ、気管支炎や肺炎などを合併し、重症化することが多いのが特徴です。

短期間における流行性が強く、特に高齢者や慢性疾患患者で死亡率が高くなるという点では普通の“かぜ”とは異なります。また、小児ではまれにインフルエンザ脳症等が起きると報告されています。

○予防接種の有効性

特に高齢者の発病防止や重症化予防に、有効であることが確認されています。また、効果が持続する期間は5ヶ月間とされていることから、毎年インフルエンザが流行する前の12月上旬までに接種を受けておけば、1シーズン1回の接種（13歳未満は2回）で効果があるとされています。

※裏面も必ずお読みください



○予防接種後の注意点

予防接種を受けた後、注射の跡が赤みを帯びたり、はれたり、痛んだりすることがあります。わずかながら熱が出たり、寒気がしたり、頭痛、全身のだるさなどがみられることもありますが、通常2～3日のうちに治ります。

また、接種後数日から2週間以内に発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害の症状が現れるなどの報告があります。

非常にまれですが、ショックやじんましん、呼吸困難などがあらわれることがありますので、予防接種を受けた後30分間は医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。

なお予防接種をした日は、注射した部位を強くこすらないようにすれば入浴してもかまいませんが、激しい運動や大量の飲酒は避けるようにしましょう。

大江町健康福祉課 保健衛生係
☎ 6 2 - 2 1 1 4

○予防接種後の注意点

予防接種を受けた後、注射の跡が赤みを帯びたり、はれたり、痛んだりすることがあります。わずかながら熱が出たり、寒気がしたり、頭痛、全身のだるさなどがみられることもありますが、通常2～3日のうちに治ります。

また、接種後数日から2週間以内に発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害の症状が現れるなどの報告があります。

非常にまれですが、ショックやじんましん、呼吸困難などがあらわれることがありますので、予防接種を受けた後30分間は医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。

なお予防接種をした日は、注射した部位を強くこすらないようにすれば入浴してもかまいませんが、激しい運動や大量の飲酒は避けるようにしましょう。

大江町健康福祉課 保健衛生係
☎ 6 2 - 2 1 1 4